

## ■普及啓発活動

5月4日、さかい利晶の杜で開催された「SAKAIマルシェ-新茶の季節-」や、5月6日堺市都市緑化センターで開催された「チャノキイベント」では、お茶で和紙染め体験を出展しました。

4/15(月)~26(金)には、堺市役所1階ロビーにて「みどりの月間パネル展」が開催されました。ふれあいの森について知ってもらおうと、園内でみられる生きものや、いっちゃんクラブの活動を紹介するパネルを展示しました。

またふれあいの森では、季節に応じたイベントを開催しています。5月には茶摘み・茶揉み体験、6月には田植え体験、7月には夜の生きもの観察会などを行い、里山での生活を体験することができたり、豊かな自然がある場所ならではの生きものを観察することができました。



茶摘み・茶揉み体験



SAKAIマルシェでの出展の様子



チャノキイベントでの出展の様子



田植え体験

堺自然ふれあいの森では、FacebookとInstagramの2つのSNSを運用しています。季節の自然や生きものに加えて、保全活動やイベントのお知らせを発信しているので、ぜひフォローしてチェックしてください。



Instagram



Facebook



### オリジナル缶バッジ or ポストカードプレゼント

ふれあいの森のInstagram登録 or 利用者アンケート記入 でプレゼントします。詳細は森の館のスタッフにお尋ねください。グッズが無くなり次第終了となります

Instagramには生きものや保全活動を掲載しています♪

## 堺自然ふれあいの森

開園時間 9:00~17:30(3月~10月)・9:00~16:00(11月~2月)  
休園日 月曜(祝日の場合は、翌日休み)、年末年始  
入園・入館・駐車場 無料

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740

TEL 072-290-0800 <http://www.sakai-fureainomori.jp/>

**バス** 泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば「鉢ヶ峯行き」  
「公園墓地北口」下車 徒歩約1,200m  
※日・祝は「堺公園墓地行き」あり。「自然ふれあいの森前」下車すぐ

**車** 阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km  
「堺公園墓地」を目標にお越しください

発行 堺自然ふれあいの森 指定管理者(ふれあいの森パートナーズ)  
ふれあいの森パートナーズは、(株)生態計画研究所・NPO法人いっちゃんクラブの連合体です。



# 堺自然ふれあいの森

## ニュースレター 第49号

発行：令和6年12月 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)

## ■自由研究の指導および、堺市理科展でのブース出展

堺自然ふれあいの森(以下、ふれあいの森)では、自由研究のご相談を承っております。「標本の作り方を教えてほしい」や、「ヘビの脱皮殻から種を同定したい」、「木材の燃焼効率実験を行いたい」など、本年度もたくさんの方々から自由研究のご相談をいただきました。

9月には、堺市教育文化センターにて「堺市学校理科展覧会」が開催されました。市内小・中・高・支援学校の児童生徒の理科研究物や製作物が合計740点、展示されました。そのなかには、ふれあいの森で調査や研究を行った子どもたちの研究や製作物が多数展示され、各種賞を受賞していました。指導した研究のうち、全国大会への出場に繋がったものもあり、ふれあいの森の理科教育能力が教育センター中心に広く認知されました。また、当施設からもブースを出展しました。ふれあいの森ブースでは、堺の自然の概要や、施設の利用方法やイベントに関することなど、当施設についての説明を行いました。また、当施設の年間登録制イベントであるジュニアレンジャーで、活動している子どもたちが作成した標本を展示したり、羽根ペン体験などを行いました。

自由研究の相談では、研究テーマの立て方や、調査計画や調査方法、標本作成や、種の判別などを、経験豊富な当施設職員と一緒に考えながら学ぶことができます。お気軽にご連絡ください。



研究の立て方や調査方法を指導



調査のサポート



顕微鏡の使い方をレクチャー



堺自然ふれあいの森ブース



堺市理科展覧会の様子



ふれあいの森で研究活動を行った子どもたち

## ■他施設への協力

7月には、堺市環境局環境保全部環境共生課や大阪公立大学と連携し、夜の生きもの観察会を開催しました。園路を歩きながら、樹液に集まる昆虫を観察したり、ライトトラップを設置し、光に集まる昆虫を観察しました。このイベントの様子は「J:COM」に取り上げられました。

また、ふれあいの森近隣にある上神谷小学校にて、湿地ビオトープでの生きもの観察会と、カワバタモロコヤ堺市の生物多様性に関する授業を行いました。

8月には、ふれあいの森の職員が万博記念公園にて園内の自然観察学習館moricaraのスタッフに向けて、ライトトラップのレクチャーを実施しました。



堺市や大阪公立大学と連携した夜の生きもの観察会



上神谷小学校での生きもの観察会



堺市の生きものに関する授業



ライトトラップのレクチャー

その他、ふれあいの森近隣にある泉北高校の科学探求課程に通う生徒のうち、学校ビオトープの整備を行っている班と、土壌微生物による発電実験を行っている班に向けて、ふれあいの森の職員が、研究の指導・アドバイスを行いました。研究目的の書き方や調査の実施計画の立て方を学んだり、実際に当施設の中で、実験のための材料集めや、予備実験を行いました。



泉北高校ビオトープの現地視察



研究計画を指導



調査器具の説明



ふれあいの森での調査活動



実験材料の調達

## ■団体受入れ状況

4～9月までの団体受入れは、小学校21件、幼保・こども園25件、その他20件でした。団体に対しては、「森の概要説明」をはじめ、野外でのプログラムとして「森のクイズラリー」「生きもの観察」、室内でのプログラムとして「ワークショップ」の他、「バードコール」や「壁掛け作り」、「木のペンダント」などのクラフト体験を実施しました。



森の概要説明



生きもの観察



葉っぱの観察



クラフト体験

## 令和6年度上半期（4月～9月）の里山環境の保全活動・普及啓発活動の担い手育成について

### ■フクロウの保全活動

ふれあいの森では、平成25年よりフクロウの保全活動の一環として繁殖用の巣箱を設置しています。森での生息状況や繁殖状況は職員が毎年調査しており、令和6年度で累計50羽のヒナが園内で産まれました。フクロウは食料として主に森のアカネズミを好み、そのアカネズミは森のどんぐりを主食としています。日々の森林整備活動によって、落葉樹主体の里山の雑木林が維持されていることが、フクロウが安定して子育てができる森の維持に繋がっています。フクロウの生態や分類などについては、まだまだ知られていないことも多く、大学や専門機関にもご協力頂き、保全のための新たな知見を得ることを目指して、研究に取り組んでいます。今後もフクロウが安定して繁殖を続けることができよう、フクロウの暮らしや、森林の整備活動を温かく見守って頂けますと幸いです。



園内に生息しているフクロウ



職員による生息状況の調査



巣箱内での子育ての様子



センサーカメラを用いた調査

※調査は専門知識を有する職員が実施しています。フクロウにストレスを与えないよう、観察はマナーと配慮をお願い致します。

### ■新たな里山保全プロジェクト「SPICA（スピカ）」の始動

2024年の春より、堺自然ふれあいの森でのインターンシップを受けた大学生が中心となり、南部丘陵保全のためのプロジェクト「SPICA（スピカ）」を開始しました。保全緑地での里山整備や、湿地ビオトープを持つ小学校へ赴き、ビオトープの整備活動を行っています。ふれあいの森の職員は、活動へ向けてのアドバイスをしたり、活動場所の提供、保全のための実習など、活動が行いやすいようサポートしています。



プロジェクトの運営をサポート



プロジェクト参加者へのネザサ刈り実習



木の伐倒方法をレクチャー

#### 里山保全プロジェクト「SPICA（スピカ）」の活動例



里山整備



活動地の生物調査



学校ビオトープの整備サポート